

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	地球市民かながわプラザ
指定管理者	公益社団法人青年海外協力協会・株式会社金港美装
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	国際課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

提案事業以外に、県の要請を受けて県施策に関する事業を実施するなど、提案以上に事業を実施したこと、利用状況が前年同期で27.7%上回ったこと、収支状況も利用料金収入の11.9%増加や電気料金節減などによる経費の節減により良好であることからA判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月16日	5月28日	○	○	○	無	特になし
5月	6月15日	6月25日	○	○	○	無	特になし
6月	7月13日	8月2日	○	○	○	無	特になし
7月	8月15日	8月21日	○	○	○	無	特になし
8月	9月14日	9月21日	○	○	○	無	特になし
9月	10月12日	10月22日	○	○	○	無	特になし

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>子どもの豊かな感性の育成や県民の地球市民意識の醸成のための総合的学習拠点、県民の国際交流・協力活動の拠点として、来館者に学習機会や活動の場を提供するなど、施設の効用を高めるため、具体的な事業を提案した。</p> <p>① 常設展示の内容を深化・補完し、展示の充実を図るため、プラザ設置目的を踏まえ、世界の伝統文化、自然、災害、歴史的遺産などをテーマとした企画展を実施し、楽しく学び、豊かな感性を育む機会を提供する。</p>	<p>企画展の内容</p> <p>・4月27日～5月6日「アクアリウムジャーニー2012 世界の魚と出会う日」来場者数4,962人</p> <p>地球環境保護についての理解を深めることを目的として、世界の不思議な魚のミニ水族館を実施。アフリカ、ヨーロッパ、アメリカなど、合計100種類の魚などの展示や、展示室内に、お絵かきコーナー、ヒトデやナマコ等の海の生き物に触れることができるタッチプールを設置し、楽しく学べる企画を実施した。</p> <p>関連企画として、クジラやイルカなどの写真展及び沖縄の海を描いた絵画展や、写真や絵画などの展示協力者の水中カメラマンや画家によるトークショー「水のかたらい」を開催した。</p>

		<p>・ 5月26日～7月16日「リオ+20応援企画 世界環境写真展 地球からのメッセージ」来場者数5,329人</p> <p>6月にブラジルのリオデジャネイロで「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」開催されるのを機に、写真を通して、自然の美しさや環境問題への関心を高めるために、世界中の写真家111名から111点の自然・生物・環境破壊の現状などの写真を集めて展示した。また、子どもも楽しめるように、間伐材を利用した積み木コーナーや発電コーナーの設置、身近な環境問題を学べるように、県の取り組みや神奈川の海のゴミについて説明したパネルの展示、「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」の説明パネルの展示をした。</p> <p>関連企画として、「ツバル写真展～世界の現状から～」の開催により、地球温暖化による海面上昇の被害を受けている島国ツバルの写真の展示や環境問題や自然をテーマとした映画「セヴァンの地球のなのおし方」、「Life ライフ」、「ブルー・ワールド 狙われた水の真実」の上映会を実施した。</p> <p>・ 8月1日～9月17日「わくわくどうぶつアート展」来場者数10,525人</p> <p>世界の様々な豊かな文化を感じ、国際理解を深めるために、主に家族連れを対象として、ゾウやクジラなどの動物を題材にした国内の画家や彫刻家の作品、バングラデシュのリキシャアートや中国農民画の動物作品を展示した。</p> <p>関連企画として、中国農民画などのワークショップを実施した。</p>
	<p>② 外国籍県民の生活支援の観点から、外国籍県民相談事業を実施する。</p>	<p>外国籍県民相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育 相談件数 365件（4～9月） 窓口 横浜に設置 相談日 週5日 対応言語 中国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、日本語 ・一般相談 相談件数 530件（4～9月） 窓口 横浜・川崎・厚木に設置 相談日（※） 週1～4日 対応言語（※） 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タイ語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語 ・法律相談 相談件数 45件（4～9月） 窓口 横浜・厚木に設置 相談日（※） 週1日、または4日 対応言語（※） 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語 <p>※窓口によって異なります。</p>

	提案内容	実施状況
2	<p>2 指定管理料について、人件費の抑制により、指定管理者選定時に県が提示した参考価格より43,613千円の大幅な削減を図る提案を行った。</p>	<p>4月より電気料金が約14%値上げとなったにもかかわらず、契約電力の引き下げや、節電実施などにより、電気料金の節減に努め(22年度同期比：電気使用量△17.8%、電気料金9.1%)、提案した指定管理料で適切に指定管理業務を実施した。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		303,192	27,127	—	330,319	330,319	0
予算額	前年度	259,579	20,280	994	280,853	280,854	▲ 1
	上半期	135,037	10,140	497	145,674	140,427	5,247
	下半期	124,542	10,140	497	135,179	140,427	▲ 5,248
	今年度	259,579	20,280	996	280,855	280,855	0
	上半期	136,399	10,140	498	147,037	147,037	0
	下半期	123,180	10,140	498	133,818	133,818	0
上半期実績額	4月	18,030	2,341	—	20,371	14,691	5,680
	5月	16,030	2,461	—	18,491	19,242	▲ 751
	6月	26,024	2,146	38	28,208	21,528	6,680
	7月	19,530	2,856	—	22,386	21,002	1,384
	8月	37,255	2,888	36	40,179	38,188	1,991
	9月	19,530	2,735	—	22,265	19,787	2,478
	今年度 上半期合計	136,399	15,427	74	151,900	134,438	17,462
	前年度 上半期合計	135,037	13,791	145	148,973	110,040	38,933
	対前年度上半期比				2.0%	22.2%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	利用料金収入が前年度より増加（11.9%）したこと、支出については、執行時期を基準として予算を編成しているため、光熱水費、保守点検等は執行後履行確認してから支出するまでの時間のずれが大きく、支出時期が下半期にずれこむなどの理由により、収支差が発生している。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	該当なし
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	該当なし
	0	
	0	
支出	0	
	0	該当なし
	0	
	0	
積立等	0（期首）	該当なし
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	27,081 人	15,975 人	69.5 %
5月	35,335 人	26,132 人	35.2 %
6月	28,444 人	23,862 人	19.2 %
7月	32,653 人	28,555 人	14.4 %
8月	40,801 人	33,498 人	21.8 %
9月	30,720 人	24,796 人	23.9 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	302,000 人	195,034 人	152,818 人	▲ 35.5 %	27.7 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

※目標利用者数は年間目標利用者数

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	23年度は東日本大震災の影響による施設利用時間の短縮や改修工事等による一部休室のため、特に4月の利用者数が例年より大幅に減少した。 一方、24年度は、企画展の開催日数増等による入場者数の増加（23年度比250.6%）や23年度末にリニューアルした映像ライブラリーの利用者数増加（前年度比157.3%）となったことから、全体で前年同期比27.7%増となった。
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	年間目標利用者数のみ設定のため
③ その他特記事項	/	

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)	13 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

事業面・管理運営面において、適切に業務を遂行している。
 特に、魅力ある事業展開のほか、企画展開日数の増加等の工夫により、利用者数が前年より大幅に増加したことは、施設の設置目的である県民の国際理解や地球規模の課題について考える機会を提供し、子どもの豊かな感性の育成について貢献したと認められる。
 また、県の要請を受けて日中友好40周年記念イベントを実施し、参加者の高評価を得たことは、県の施策の実動機関として役割を十分果たしたと評価できる。
 以上のことから、引き続き施設の設置目的を踏まえた魅力ある事業を積極的に実施するとともに、新たな利用者の掘り起こしに向けた取り組みについて努めるよう指導していく。